

平成29年度第2回 名張市地域公共交通会議 議事概要

日 時 平成29年11月30日(木)

午後2時30分より

場 所 名張市防災センター 防災研修室

出席者：(敬称略)

(1) 委員

- 田 靡 雄一 (市民公募)
- 藤 本 勝 (市民公募)
- 室 谷 芳彦 (地域づくり代表者会議副会長)
- 吉 田 敦美 (名張市身体障害者互助会会計)
- 寺 岡 正和 (名張市保育所(園)保護者会連絡協議会会長)
- 松 本 幸正 (名城大学理工学部教授)
- 中 平 恭之 (近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科准教授)
- 森 本 治実 (代理出席、近畿日本鉄道株式会社総合企画本部計画部課長)
- 中 川 康司 (代理出席、三重交通株式会社伊賀営業所営業係長)
- 深 山 美芳 (深山運送有限会社代表取締役会長)
- 川 瀬 和也 (代理出席、株式会社メイハン常務取締役)
- 前 田 敦志 (三重近鉄タクシー株式会社名張営業所所長)
- 森 澤 淳 (三重交通労働組合伊賀支部支部長)
- 福 田 勝許 (伊賀建設事務所副所長)
- 大 茂 裕明 (三重県名張警察署交通課課長)
- 小 出 和仁 (国土交通省中部運輸局三重運輸支局主席運輸企画専門官)
- 羽 田 勇人 (代理出席、三重県地域連携部交通政策課主幹)
- 前 田 國男 (名張市副市長)
- 谷 本 浩司 (名張市都市整備部部長)

(2) オブザーバー

- 片 岡 広一 (国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課課長補佐)
- 勝 木 祥文 (名張商工会議所総合商業部会長)
- 松 本 一彦 (三重県県土整備部都市政策課課長補佐兼都市計画班主幹)

(3) 事務局

都市整備部都市計画室 4名

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議事

(1) 報告案件1 平成28年度公共交通の利用状況について

(事務局、各事業者より資料に基づき説明)

座長 それぞれの状況をご説明いただきましたが、これに関しましてご意見・ご質問等ございましたらお願いします。

委員 お願いなのですが、今事務局と事業者さん、特にバス事業者さんの方から、利用者の数字を端的にご報告いただき、人口減少やマイカー依存で利用者が減っているということでしたが、それだけでは駄目で、路線別にきちんと利用動向を把握し、増減の要因分析をしていただいて、対処方針をきちんと考えて対応する必要があります。利用者が減っているのはしょうがないということでは、いつかはなくなってしまうので、この地域のバスを残していくということであれば、きちんと要因分析をして対処していく必要があると思いますので、そういった点を踏まえて対応をお願いしたいと思います。

座長 急にというわけにはいかないと思いますが、データを見て、増えているところもあり、大きく減っているところもあるということなので、人口減少だけ、マイカー依存だけではなくということを見ていってくださいということですが、今後そういったものも可能でしょうか。交通事業者の皆さんもぜひ今後そういったものをご報告いただけますか。

委員 はい。

座長 ありがとうございます。他に何かございますか。

委員 私どもも、路線別に毎年分析をしています。個々の路線に対する対応は考えてさせていただいております。

座長 できたらそれを皆さんで情報共有しながら、何が問題になって何が順調なのか、場合によっては皆さんでその問題の対策を考えていく必要があると思いますので、ぜひこの会議の場で、今後可能な範囲で情報提供のご検討をいただければと思います。
ちなみに人口減少というのはどの会議にも出てくるのですが、名張の場合は年何%くらい減っていますか。

会長 年間500人くらいですね。母数は8万人です。

座長 では年間1%弱ですね。ということは、人口減少に伴って公共交通利用者が減るとすれば約1%ですね。この数字は路線バス、市内幹線でいうともっと大きいと思いますね。そういったことをとらえておきながら原因をつかんでいってほしいということだと思います。また、おそらく路線ごとに人口減少の割合、高齢化の割合が違うと思いますので、それも路線ごとに出していただけると、ということだと思います。
続きまして、三重県の方から名張市内の幹線に関して評価をいただいております。ご説明をよろしくをお願いします。

(三重県による説明)

座長 ありがとうございます。市をまたがって県の方で幹線として認められている路線の自己評価計画、この結果は国の方へ出すのですね。2番目の路線が非常に厳しい状況だということがわかりました。ここをしっかりやっついていかないと、いずれ何らかの手を打たないといけなくなるという認識をもっといただいて、できることをしていくことが大事だと思います。

(2) 協議案件1 美旗地域コミュニティバス「はたっこ号」の実証運行結果について

(事務局より資料に基づき説明)

委員 資料2の2番ですが、新設停留所の利用者数の、5月の池の台第3公園や、4月の美旗中村公民館前など、1か月の間で利用者が極端に多いところがありますが、何か利用の状況に特徴的なものがあれば教えてください。

事務局 地域から聞かせていただいているのは、新しくバスが通ったということで、地域の老人会等でイベント的に利用してみようかというような取組があったとご報告いただいておりますので、そういったところで数字が上がっていると考えております。

座長 いいですね。池の台第3公園、美旗中村公民館前、もう1つ道城山口ですか、ここがそういうイベントをしているということですね。逆に言うと、こういうイベントをすると増えるということですから、地域の方々にご利用いただくというのは何より大切ですので、引き続きこういった地域ごとに使うイベントをやっていただければと思います。ちなみにこれは新設のバス停のみだと思いますが、ほかのところは乗っていないですか。特に駅の近くの乗降が多いですか。

事務局 基本的には駅の乗降が一番多いです。

座長 そこもこういったイベント等で利用されているのですか。

事務局 駅にはスーパーなどのショッピングセンターがありますので、買い物や乗り継ぎのご利用が多くなっています。

座長 ありがとうございます。こういった地域の努力が新しい停留所でされていますので、既設の停留所でも同じくらいの利用があると考えていいですかね。そうですね、ありがとうございます。

地域のご協力もあるということで、見直しをして幸いにも今まで以上のご利用があったということでございますので、事務局の提案としましては、今後もこの実証運行通り、これは今も実証運行中ですか。

事務局 日付でいうと9月までが実証運行期間ということにもさせていただいているのですが、引き続きそのままの形態で運行いただいているところでございます。

座長 ということで、引き続きこのようなかたちで運行してはというご提案でございますが、いかがでしょうか。では特にご異論もないようですので、引き続きこのかたちで運行していただくということでご承認いただけますか。はい、ありがとうございます。では、このままのかたちで運行いただきながら、地域の方にはぜひこのようなかたちで何人かお友達と乗り合わせて利用いただきたいということと、今後ご報告をいただきながら、場合によって見直すところは見直していくということをお願いしたいと思います。

(3) 協議案件2 平成29年度上半期の取組について

(事務局より資料に基づき説明)

- ・事業推進部会の取組報告及び今後の取組について

(事業推進部会 部会長よりご説明)

- ・名張市地域公共交通連携協議会の取組報告及び今後の取組について
(連携協議会 会長よりご説明)

- 座 長 網形成計画の進捗についてですが、色がついているところは進んでいるということによろしいですね。かつ、実は先にやろうとしていたものをすでに着手をして色がついているというものもありますよね。問題なのは何も色がついていないところだということによろしいですね。その何も色がついていないところは、そもそもこの先にやらないから色がついていないのがありますし、本来はやるべきだと思っていたのに色がついていないというのもあったりします。この中で、この先難しそうだなというものはありませんか。あるいは網形成計画というのは見直し可能になっているので場合によっては少し見直そうか、あるいはこういうのを追加しようかというのも可能かと思いますがその辺はいかがですか。
- 事務局 先程の説明の中では省略してしまいましたが、この会議のスタンスといたしましては、「できることからやっつけよう」といったことがございますので、できることの中では取りこぼしがないうまわり進めていただいていると考えております。ただ、一番上段にございます公共交通ネットワークをもっと盤石なものにしていくといったことにつきましては、不便地となっている赤目地区にコミュニティバスを導入していただくということで、地域の方に検討組織を作ってください、どうかたちがいいのかということをお話し合っています。その中では、定時定路線のバスのスタイルがいいのか、デマンド方式がいいのかということも含めて地域に一番いい公共交通の在り方を検討いただいております。できれば、赤目地域も整ったうえでネットワークの再編をしていきたいという思いでこの計画を策定しております。ですので、若干の地域の取組の遅れが全体の遅れにもつながってきています。すべての地域におきまして、コミュニティ交通の導入が叶ったときには、ナッキー号を含めました既存のコミュニティバスの役割を考え直させていただいたうえで、大きな再編をもってこの網形成計画の一番の要点が整うと考えております。その後、結節点機能強化等のハード整備を実施していきたいと考えております。今のところは大きく網形成計画を見直すべきところはないと事務局としては考えています。
- 座 長 拙速に進めて地域の声が聴けないままコミュニティバスを走らせるよりも、入念にやっつけ地域に喜ばれるものをまず作っていく、そしてその後全体の見直しだと思いますので、多少この時期の前後はやむを得ないと思います。ちなみにこのポスター掲示による啓発活動というのは、既に実施されていないのですか。
- 事務局 すみません。ナッキー号に限り、こういった安全の呼びかけ等はなかったかと思っていましたので、ただ三重交通さんのバスの中にはおそらくあると思いますので、こちらは着色をさせていただきたいと思います。
- 座 長 そうですね。今はどのバスでも停車してから立つように、手すりを持つようにというポスターが掲示してありますし、あとは運転手さんも車内放送でそのように言っていないか。
- 委 員 車内にそういった注意喚起のポスターは貼らせていただいておりますし、乗務員の方からも案内はさせていただいております。

座 長 そういうわけでしたらここは着色ですね。ナッキー号についても車内の掲示がないのであれば、至急対応していただくということで着色していただければと思います。

続いて、事業推進部会の取組について、こうやって精力的に取組んでいただいている、ありがたいと思っております。そして、今後バス停のデザインについて考えたい、あるいはバスマップの作成に向けて進んでいく、さらに調査とその分析もしていただくということです。

続いて、連携協議会ですが、これは今回の網形成計画のポイントだったのですが、まずは事業者それぞれのバスの評価をしていただいて、それぞれ情報共有をしながら、伸びている路線もあり、残念ながら落ち込んでしまっているところもあります。それは地域それぞれの状況もあるので、減っているから一概にダメというわけではないですね。その中で、お互い情報共有をしながらまずは真似でもいいからよい取組みは取り入れてどんどんやっつけていこうとか、そういう話がありました。今、ご紹介があった中でも運転手さんに何が必要かを聞いたとか、区長会に顔を出したとか結構いろんな取組が行われていると思えました。それをお互いに情報共有していろんなところで取組んでいただければ、利用促進につながっていくのだろうという気がします。ネットワークという意味では、今後、拠点を中心にどうやって連携が図れるか、あるいは事業者同士の連携についても検討していくという次のステップも考えていただいているということですが、いかがでしょうか。

委 員 はたっこ号で新しく設置された東ルートバス停は、もともとお客様のニーズがあったから新設ができたということでしょうか。

座 長 従来は2, 4, 5, 7便で非常に利用が少ないから見直そうということで、そこでなぜ東ルートというのが出てきたのか、地域からの声なのか、その辺をお聞かせいただきたいです。

委 員 一番初めに美旗地域全体でアンケートを1年間に3回行いました。近鉄線の西側は名張市の交通空白地域にも指定されているのに対して、東側には国道165号が走っており、そこには路線バスもありますので、アンケートをとった時に、東側ではほとんど必要ないという意見だったので、先に西側のみ運行することとしました。その際に、後々、必ず東側からも運行してほしいという意見が上がってくると思っていました。実際に東側から運行を要望する声が上がってきたわけですが、交通会議で承認をいただくにはそれなりの裏付けが必要になりますので、アンケートの結果を踏まえてルートを新設するというかたちにさせていただきました。お手元の資料にございますとおり、バス停によって乗降数がかなり多いところ、少ないところがありますが、バス停の位置については地区で検討いただいております。なぜこんなところと思われるようなものもありますが、とにかく定時にそこに停まるということで利用していただけるようになり、将来的にも伸びていくと思います。ただ、運行事業者の献身的な協力も忘れてはならないことだと思います。

座 長 調査もしてニーズも聞きながら、そして見直しも行ってこのようないい運行のかたちになったということですね。先程委員からそんなに努力してないよという言葉がありまし

たが、そうではなくて、ものすごく努力していただいていると思います。この努力が実ってこのようないい結果になったのだと思います。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員 はたっこ号に関する資料を読ませていただいたのですが、東ルートは循環型というかたちですが、池の台の方は桔梗が丘駅にはどのように行くのですか。

委員 桔梗が丘駅を出発し、池の台を經由して桔梗が丘駅まで戻ります。

委員 それはぐるっと回るまでずっと乗っておかなければならないのですね。

委員 東ルートは、西ルートにも入りますが、西ルートのすべてを走るわけではなくある一定のところからまた帰ってきて桔梗が丘駅に着くようになっていきます。

委員 循環と言いますと、桔梗が丘の場合東西ルートがあって近くに住む人は利用しやすいですが、片方ばかりまわっているように思えます。

委員 西ルートは便ごとに往復、東ルートは一方向の循環になっています。

委員 そうですね。その辺が少しわかりづらいと思いました。

座長 東ルートは同じ方向でしか回っていませんので、場所によってはぐるっと回るのですが、帰りは早いです。そういうときは西ルートが使えるなら使っていただければいいですね。そういった使い分けをしていただいたらいいのですが、わかりにくいのはおっしゃるとおりだと思いますので、そこが一番問題だと思います。

委員 でも、便数はそのままルートを変更しても利用者が増えているというのは、やはりそれなりに今回の変更がうまくいっているのだと思います。

座長 それはどこのまちでも一緒です。どうしてもいろんなところを回ろうと思うと巡回型になります。では反対側も回せるかということ、バスが2台必要なので、予算も2倍になります。ですので、一方向で回るというのがいろんな自治体で見られます。その他にあるのが、便ごとに方向を替えるという方法です。1便は右回りで2便は左回りと、それこそわかりにくくて、次の便はどっちだとなります。なかなかその辺は難しいと思います。何を選択するか、それは地域の方々が決めることだと思います。

委員 聞き違いかもしれませんが、委員が「連携は難しい」とおっしゃいましたか。何が難しいのでしょうか。

委員 それは連携協議会の会議の方での事案についての私の個人的な見解としまして、各コミュニティバスがそれぞれの運賃と路線で認可を受けていますので、どういった連携が図っていただけるかということです。今後、まず取り組んでいきたいのは、例えば桔梗が丘駅にはたっこ号が来て、ほかのコミュニティバスとうまく時間を調整して乗継の利便性を高めることができないかということからはじめていきたいと思っています。

委員 それはそうですが、金額面や認可の面がありますが、認可は申請すればいい話で、要するに私が言いたいのは、市民の1人がどのバスに乗るというのは関係なく、あそこに行きたいというのが市民1人ひとりの声ですよね。どの路線に乗るのかは、どうでもいいのだと思います。このようにバス停がカラフルにたくさんあるのはおかしいですね。市民は、例えば名張駅に行きたいからバスに乗るといように利用目的がはっきりしています。しかし、地域のバスはいろんな面で統一されていないので、市民の方にとって、

はっきりとわかりやすく目的地に行けるようなバスにしていかなければならないと思います。もっと連携して、統一した考え方を持てばいいですし、運賃は協議会等で検討していただければいいと思います。統一したかたちでやるべきだと思います。ナッキー号は100円で、ほっとバスは200円からなどというこの単価の違いがおかしいです。そういったことなどを協議会で検討していただいた方がいいと思います。

委員 そうですね。どのバスでも使える定期券をつくるのがいいと思います。しかし、それもハードルは高いです。時間の調整だけでなく、料金体系も違いますので、その辺は難しいと思いますが、将来的にはどのバスに乗ってもその定期券が使えるという体制ができれば、名張市の公共交通はとても便利になると思いますし、利用者も増えるのではないかと思います。ハードルは高いと思いますが、希望をもっておかないと、どこかできっかけを見つけた時、そのチャンスをつかむことができないと思います。

座長 そもそも網形成計画ではそこが問題点として皆さん認識があったので、そのハードルを越えるための連携協議会の設置だったと思います。ハードルは高いですが、地域公共交通会議の仕組みを使えば、それが可能になる時代ですので、ぜひそういったことも一步一步進んでいただきたいと思ひますし、何よりも協議会長が連携の必要性を認識されているということですので、そこに向かってできるところから取り組んでいただきたいと思ひます。例えば、赤いバスとか緑のバスがあると、赤いバスに乗ると自分の家に帰れると覚えていらっしゃる方もいて、全部が赤になってしまうと間違って乗ってしまうということもあって一長一短なところがあります。そういうのも踏まえて、将来的にいずれにしても市民の方が使いやすいかたちを作っていく必要がありますので、検討いただければと思ひます。

その他よろしいでしょうか。連携協議会の方で各コミュニティバス路線の評価をいただきました。基本的には今まで通りの運行を継続していただきますが、見直すべきところは見直す、改善すべきところは改善してくださいという評価結果になっております。まさにそうだと思います。また、お互い情報交換をしながらやれることはやろうということについて、特にご異論はないということですのでよろしいですね。はい、ありがとうございました。ちなみに免許返納についてはまた今後考えていくのですか。

部会長 部会では具体的に免許返納者に対して今何かをしてはないのですが、今後増えてくるであろう免許を返納された方に対していろんな割引や特典を付けたらということも考えていきたいと思ひます。

座長 免許返納に関しては、三重交通さんが割引をされていますので、そういったものも合わせて検討の題材にしていただきたいと思ひます。では、今回ご報告いただいた内容は特にご異論ないということにさせていただくとともに、引き続きご協力いただきたいと思ひます。

(4) 協議案件3 その他

事務局 本日、資料ではたっこ号おしゃべり広場というものを入れさせていただいております。議事の中でもご説明いたしましたが、12月2日の土曜日に大会議室で開催しますので、

ご興味がおありの方がいましたら、ぜひご見学いただければと思います。

座長 これは事業推進部会の方で取組のあったバスマップをつくるというものの一環でございます。今回、私の研究室でお手伝いさせていただき、住民の方とわかりやすいバスマップを作っていきたいと思います。先程、委員からどっち回りかわからないというご意見をいただきましたが、それがおそらく市民の大半の方が思っていることだと思います。そこを解消すべくわかりやすいバスマップを作成していきたいと思っています。ご参加いただける方は是非ご参加していただき、もちろん見学というかたちでもありがたいと思っております。

それでは予定していた議題のすべてが終了しました。皆さまのご協力に感謝申し上げます。それでは進行を事務局にお返しします。

事務局 長時間にわたりまして、終始ご熱心にご協議いただきありがとうございました。これを持ちまして、平成29年度第2回名張市地域公共交通会議を閉会いたします。